

海が運んでくるものは何だろう？

学校名：愛媛県立伊予高等学校 名前：空野 剛

対象	1学年	単元名	海が運んでくるものは何だろう？
科目	地理総合	目標	1 海と私たちの関係を多面的に考察し、理解する。 (海が私たちに与える影響と、私たちが海に与える影響を考え、理解しよう！) 2 海と私たちの関係について考察した結果を表現する。 (学んだ海と私たちの関係を小学生に伝えよう！)
時間	2単位時間		
参考資料	『あおいほしのあおいうみ』ほか		

期待できる学習効果

- ・その1 地理総合で学ぶ海流と私たちの暮らし、他国との暮らしとのつながりへの考えを、教科書と普段の生活との関係への理解を深めることができる。
- ・その2 海から私たちの暮らしへの影響だけでなく、私たちの暮らしが海にどのような影響を与えるかという海と私たちの暮らしとの関係性について、多面的に考えることができる。
- ・その3 学んだ内容を発信する場面を設定し、学校での学びを日々の生活に生かす姿勢を身に付ける。

授業内容

【MQ】海が運んでくるものは何だろう？

(SQ1)世界の海流にはどのような特徴があるか？
教科書の資料から読み取ろう。

(SQ2)海流によって運ばれてくるものは何か？(『あおいほしのあおいうみ』)
私たちの生活にプラスなイメージ、マイナスなイメージで整理しよう。

(SQ3)海流を無視して船などを使った輸出入できる力を私たちは持っている。海を越えて、
どのようなものが運ばれてくるか？プラスなイメージ、マイナスなイメージで整理しよう。

(SQ4)海を見ながら、小学生(もっと小さくてもよい)に今回学んだ海と私たちの暮らしとの関係
について、語ってみよう。

(SQ1)世界の海流にはどのような特徴があるか？

(SQ2)海流によって運ばれてくるものは何か？ のつながり

→地図帳に掲載されている既習事項を導入として活用しながらSQ2の「海流」や「交通・貿易、物流」などの地理的事象と海との結び付きについて考えを深めることができるよう工夫した。
生徒は、SQ1の学びを生かし、SQ2でモノだけでなく「東南アジアから流れてくる」など海流を意識した解答をしていたことなどが印象に残った。

海が運んでくるものは何だろう？

学校名：愛媛県立伊予高等学校 名前：空野 剛

授業内容2

(SQ4)海を見ながら、小学生(もっと小さくてもよい)に今回学んだ海と私たちの暮らしとの関係について、語ってみよう。

→本単元の学びをアウトプットする活動として、位置付けた。ただ学んだことをまとめる活動とは異なり、小学生や具体的な子ども(授業では、小さな弟や妹、知り合いの子でもよい。例えば、保育園や幼稚園に行ってこの学んだ内容を伝える時などを想像しながら表現してみようと伝えた。)をイメージしながら、表現活動を行った。

魚とかの生き物がたくさんいて、広大で青くて美しいところだけどたくさんのごみを海に捨てる人が多くて、たくさん魚やカメが亡くなってしまうから、海にごみを捨てる人をなくしたら、魚たちが喜んでくれると思う。

たくさん魚が住んでる所で海があるから私たちは魚が食べられているんだよ。でも、私たちが生活していてでたごみが海に流れてしまうことがあって、そうすると魚たちがごみを食べてしまうことがあるから魚たちが苦しむことがあるんだよ。

海はすごい

魚のえさになるプランクトンや雪や雨が降る原因の水蒸気などを運ぶんだよ。でも、人間がごみを海に捨てるから海にゴミがたくさん流れて魚が死ぬんだよ。

海は、たくさんものを運ぶんだよ。すごいでしょ。例えば、雪や雨、気温を運んでくるよ。悪いもので言えばプラスチックなどのごみを運んでくるんだよ。

海は日本に進んだ機械を運んできたり、気温を調節してくれたりしている。海があるからたくさん魚が食べれているしきれいな景色が見れる。でも人がごみを捨てたりするせいで海が汚れたりいきものが死んだりしてしまっているから、わたしたちが気を付けて大切にしていかなければいけない。

子どもたちの反応・感想

海の近くに住んでいて小さなころからよく海で遊んでいたのに身近なイメージを持っていたが、実はあまり海のことを知らないことがよく分かった。今回の学びを一步として、もう少し詳しく調べてみたい。

地理で何気なく学んでいる海流と私たちが遊ぶ海が関わっていることがよく分かった。プラスチックの分別など些細なことかもしれないが、できることからしっかりとやっていきたい。

